

いき



議会だより



三世代もちつき大会
(牧山武さん撮影 柳田小学校 校舎前にて)

特別委員会
最終報告

動き始めた
一支国博物館

19 p

追跡

あん質問な
どえんなった?

18 p

委員会
レポート

先進地から
学びます!

16 p

議案 質疑

旧郷 / 浦町下水道
加入金の行方は?
どうなる?
前納報奨金

4 p ~ 5 p



定例会の概要

平成十七年第四回定例会は、十二月二日から十九日まで十八日間の会期で開催されました。

本年度一般会計補正予算（総額二億三千六百二十二千円）、特別会計補正予算十一件（総額二億七千三百五十一万七千円）を始めとする議案二十八件、報告一件、決算認定十五件、請願二件、陳情一件、発議二件、計四十九件が上程され、審議の結果、報告二件を除き、四十四件が可決、一件が否決、一件が撤回

二件が継続審査となりました。

二日（本会議初日）は、議長より諸般の報告、市長の行政報告に続いて、議案が上程され、説明がありました。

七日（本会議第二日）は、上程議案への質疑、予算・決算特別委員会の設置、各委員会への議案の付託が行われました。

八日・九日（本会議第三・第四日）は、一般質問が行われ、十四人が登壇しました。十三日は、常任委員会、十

四日は、予算特別委員会、十五日は、決算特別委員会が開催され、それぞれ付託案件の審査が行われました。

十九日（本会議第五日）の最終日には、付託案件の審査に対する、各委員長報告があり、採決を行いました。

次に、追加議案が上程され「訴訟の提起について」の議案が採決の結果、否決となりました。そして、それに伴う補正予算案が撤回されました。



議長 深見 忠生

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃から市政に対する御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年市議会議員一般選挙が執行され、62名であった議員数が、26名となったところでございます。

さて、地方分権型社会への移り変わりが進む現在、国の三位一体改革のあおりを受け、さらには地方交付税の減額、また、税収の減少と相まって市の財政も一段と厳しい状況にあります。

こうした中であって、本市においても克服すべき多くの課題を抱えており、その行政需要も複雑多様化するなど、誠に厳しいものがあります。

私ども議決機関としましては、行財政基盤の強化、効率的な行政体制の確率に努め、市民皆様方の御期待に応えるよう決意を新たにしておりますので、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様の御健勝と御繁栄を心からお祈りいたしまして、新年の御挨拶といたします。

新年の「いあい」

市長行政報告

はじめに

平成十七年十一月二日、五島市で開催されました「ながさき牛づくり大会」に、吉岐から四部門十二頭が出品され、種牛第四部の出品牛群がグラウンドチャンピオンを受賞するなど、各部門において、上位を占める素晴らしい成績で吉岐産牛の名声が一層高まったものと大変喜んでいきます。

るため継続していく。

ブライダル推進事業

吉岐いきウエディングの博多港クルーズ等を実施。十三組のカップル誕生。

土地評価替え

平成十八年度が基準年度となるため、評価システムを導入。

指定管理者制度

法改正に伴い、十八年四月から市の一部施設の管理を移行。

地域防災計画樹立

予防・応急対策の実施を図る。

地域包括支援センター

市民の心身の健康維持生活の安定、保健福祉・医療の向上を図る。

精神障害者福祉ホーム施設改修

十八年二月末完成（事務室・食堂・集会娛樂室等）

障害者自立支援法

十八年四月から施行。

同年十月から完全実施。

一般廃棄物処理施設整備

ごみ・し尿・最終処分施設の集約化並びに不燃物・粗大ごみ処理設備・リサイクルセンターの焼却施設との併設が必要。

農林畜産関係

水稲の作況指数、九九。全国は一〇一。

経営安定対策

十九年度から実施される「経営所得安定対策大綱」の中の「品目横断的経営安定対策」の創設と、米の生産調整支援対策の見通しを農業者へ周知。

雇用対策と「再就職支援センター」の開設

離職者や若者の求職活動を支援のため、郷ノ浦支所に設置。

スポーツ団体誘致

交流人口の増加と島の活性化を図るため実施

中。スポーツ団体誘致事業は十月末で六十三団体

教育関係

延べ三千九百七十五人の利用。また、十一月十八日から三日間、NECパレーボールチームが来島し、トークショーや実技講習を実施

しま自慢観光カレッジ開講

離島ネットワーク観光による地域の活性化と、雇用の創出と確保を図るため、三ヶ年継続して実施。

簡易水道事業関係

予備水源地（国分採石場跡地）の確保に伴う現場

地調査完了。

教育関係

一支国博物館（仮称）の建設を推進。規模・事業費等の検討を行い、見直し案を提示。

原の辻遺跡国特別史跡指定五周年

十一月十九日、「原の辻イベントラリー二〇〇五」の記念事業を実施。

病院事業関係

市民病院、平成十八年度薬価基準の大幅な切り下げに伴い、医薬分業への転換へ。



種牛の部で見事グランドチャンピオンを受賞した吉岐牛



風力発電所（芦辺町箱崎諸津触）

平成十六年度吉岐市クリーンエネルギー株式会社に係る経営状況の報告

Q 今年度の売り上げが前年度より少ない理由は、
A 昨年の年間平均風力は六・五級。本年度は

六・三級で、相対的に昨年より売り上げが一割程度減少。

Q 長期借入金一億四千万円程度の償還方法は、

A 元金の返済は十七年度から実施。約三千万円程度。

Q 損害保険料が、昨年

比百七十三万八千三百円の増になっているが、その理由は、
A 機器に対する保証期間が終了したため、十六年度決算期から保険に新たに加入した。

平成十七年度吉岐市一般会計補正予算（第六号）

Q ①幼稚園使用料七百十六万六千円減額の理由は、

②総務費補助金で、合併市町村補助金二千四百五

十八万千円減額された事業の説明。

③介護保険所得者特別対策事業費補助金八十万円増の内容は、

A ①アンケート調査の結果で予算計上していたが、実施数が少なかったため。

②パソコン六十台購入、千四十万円追加、戸籍電算化事業の入札執行残、三千四百九十八万千円減額、合計で二千四百五十八万千円。

③助成額一人月額三万円が上限。特別養護老人ホーム「光の苑」は定員六十人。来年三月まで二百七十月分を計上。

Q 給食センター整備設計監理委託料九百七十九万五千円が減額になっているが、将来的な見通しは、

A 次年度に向けて早急に建設場所等の確定をする。

Q 外出支援サービス事業は今後も継続予定か。

A 十八年度から一般財源化になるので、今後協議が必要。

Q ①緊急患者輸送医師謝礼金について、本年度の発生状況は、輸送時間は短縮されたのか。

A ①回数は十九回分、六十六万円。輸送時間は大幅に短縮された。



こどもは市の宝（勝本幼稚園にて）

②浸水予測図調査委託料について、調査後の市民への周知方法は、避難場所の看板は設置するのか

③携帯電話への市の防災メールの登録状況は、

A ①回数は十九回分、六十六万円。輸送時間は大幅に短縮された。

くわしゅら



特別養護老人ホーム「光の苑」(郷ノ浦町志原西触)

② 防災マップを三月中旬に配付。避難施設指定の看板は必要。今後検討する。
 ③ 現在登録者は三十五名。今後、職員には徹底し、市民には周知する。

Q 前納報奨金について今後どうするのか。また、額は。

A 十八年度以降は段階的・年次的に減額。廃止の方向をとりたい。三月議会に提案し、十八年度から実施したい。前納報奨金額は五千七十七万円。

議案質疑

もろちつと

Q 旧郷ノ浦町の合併前の下水道事業の加入金の負担問題について、市はどのような方針をとるのか。

A 新年度から執行になるので、今後協議して返

平成十七年度老岐市下水道事業特別会計補正予算(第四号)

金しない方針でいく。

平成十六年度老岐市一般会計歳入歳出決算認定

Q ①財産の管理について、今後の整備対策は。
 ②災害資金貸付金の運用状況と回収対策は。

A ①七月より管財課を新設し、土地・建物等の公有財産の管理システムを整備中。

A ②未納件数は十三件で四百九十九万八千円。各支所で回収には努力して未収金対策に取り組んでいる。

平成十六年度老岐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

Q ①簡易水道使用料の現年度、過年度別未納者の数。また、最高額の未納額はいくらか。

② 具体的な未納対策は。

A ①滞納者数は現年度で百七十六戸。過年度で六百二戸。未納最高額は、簡易水道で百五十万八千四百二十円、上水道で二百三万五千二百十円。

② 現在、給水停止が簡易水道二件、上水道三件。

Q 柳田沼津地区の簡易水道は水質に問題はないか。

A 月に一回の水質検査で基準内である。水質の改善には今後とも努力する。



急患輸送に使用されるヘリコプター

12月補正予算

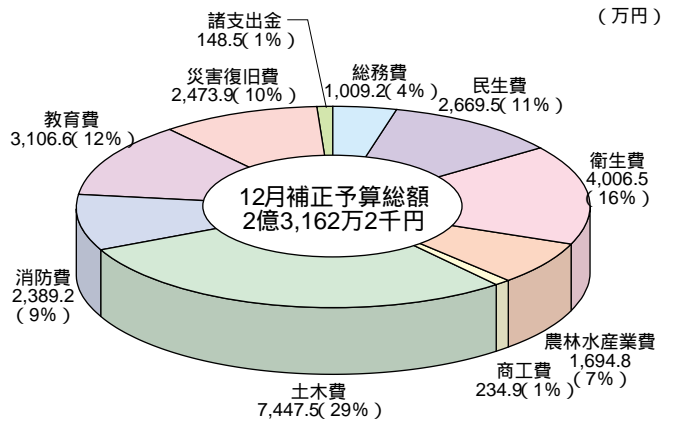
女性消防団 装備一新

一般会計主要事業 (万円)

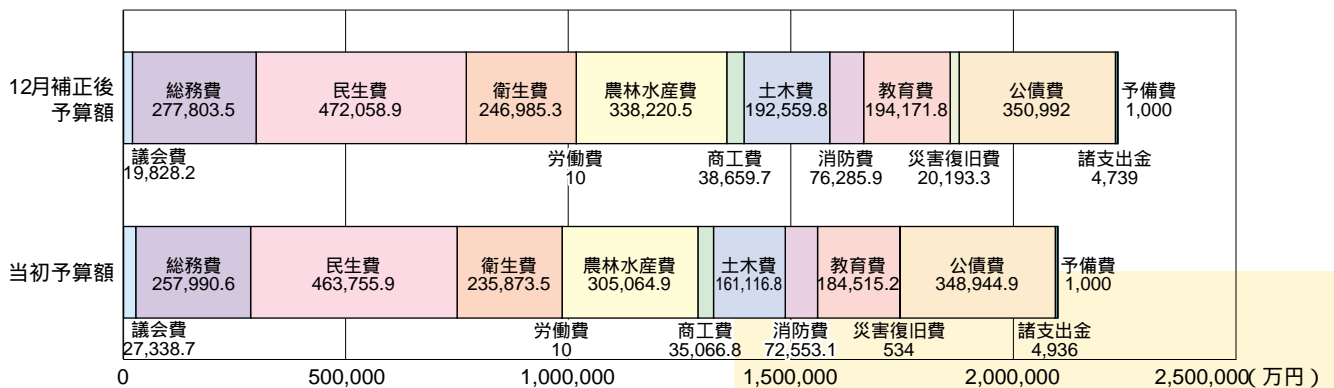
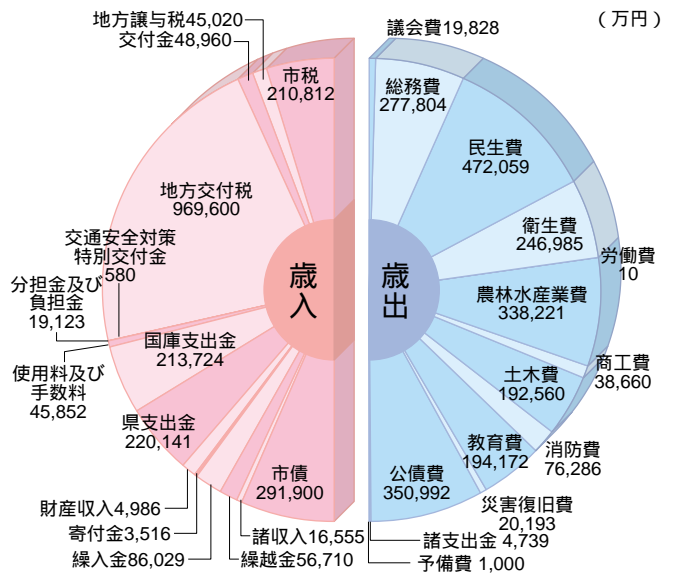
庁舎間LAN整備事業	1,040
介護保険低所得者特別対策事業補助金 ユニット型個室に係る社会福祉法人軽減制度特例措置事業	810
生産振興総合対策事業 米色彩選別施設	2,900
優良系統牛育成対策事業 優良系統牛育成対策事業補助金(保留・導入牛)	1,437
水産基盤整備事業 諸津漁港西防波堤(改良)	1,396
21世紀まちづくり推進総合支援事業 美しいまちづくり事業「まちあるき読本」作成	73
コミュニティー助成事業 男女岳ダム公園遊具整備	251
初期消火活動・予防・応急救護普及活動助成事業 婦人防火クラブ(2地区 軽可搬消防ポンプ 外)	200
消防団員安全装備品整備等助成 女性消防団員装備品(防火衣、ヘルメット一式)	239
津波被害浸水予測図調査委託	262
公共土木施設災害復旧事業 (補助)道路5ヶ所、河川1ヶ所 (単独)道路11ヶ所、河川13ヶ所	2,624

一般会計12月補正 予算総額	2億3,162万2千円
特別会計12月補正 予算総額	2億7,351万7千円
補正合計 予算総額	5億5,13万9千円
予算総額	358億6,426万1千円

12月補正予算内訳



補正後



平成16年度特別会計決算概要

平成16年度実質収支

(円)

区 分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	繰越明許費繰越額	実質収支額
国民健康保険事業特別会計	3,862,100,370	3,572,959,569	289,140,801	0	289,140,801
事業勘定					
診療施設勘定	190,539,415	154,032,371	36,507,044	0	36,507,044
老人保健特別会計	4,241,186,931	4,241,186,931	0	0	0
介護保険事業特別会計	2,272,341,358	2,263,673,048	8,668,310	0	8,668,310
簡易水道事業特別会計	978,541,379	977,246,559	1,294,820	0	1,294,820
下水道事業特別会計	931,800,588	931,800,588	0	0	0
漁業集落排水整備事業特別会計	284,958,419	275,349,251	9,609,168	5,440,000	4,169,168
老人ホーム事業特別会計	242,809,357	242,809,357	0	0	0
特別養護老人ホーム事業特別会計	465,526,215	404,438,126	61,088,089	0	61,088,089
精神障害者地域生活支援センター事業特別会計	21,648,241	21,540,969	107,272	0	107,272
精神障害者福祉ホームB型事業特別会計	21,815,488	21,743,538	71,950	0	71,950
三島航路事業特別会計	107,728,926	107,728,926	0	0	0
農業機械銀行特別会計	64,032,251	59,803,245	4,229,006	0	4,229,006
芦辺港ターミナルビル事業特別会計	208,584,619	208,584,619	0	0	0
特別会計合計	13,893,613,557	13,482,897,097	410,716,460	5,440,000	405,276,460

主要施策の成果(抜粋)

(円)

部門別	主な施策の名称	予算額	支出済額	残 額		主な施策の成果説明
				翌年度へ繰越額	不用額	
簡易水道事業	簡易水道施設整備事業	563,635,000	318,094,617	244,600,000	940,383	三島地区簡易水道施設整備工事 工事費 157,000,000 測量設計業務委託 6,510,000 事務費等 1,890,000 沼津柳田地区簡易水道整備認可申請書作成作業 1,050,000 箱崎国分地区簡易水道施設整備工事 工事費 136,614,450 測量設計業務委託 3,693,900 事務費等 2,326,267 志原初山地区簡易水道施設整備工事 事務費等 5,302,500 3,707,500
下水道事業	下水道建設事業	913,922,500	820,910,121	92,400,000	612,379	補助事業 下水道建設工事(中央処理区) 350,435,350 設計監理業務委託 39,226,950 事業費等 4,403,660 単独事業 下水道建設工事(中央処理区他) 27,812,400 設計監理業務等委託 4,410,000 事務費等 2,567,161 補助事業(繰越分) 下水道建設工事(中央処理区) 379,814,650 設計監理業務委託 11,550,000 事務費等 175,350 単独事業(繰越分) 下水道建設工事 514,500
漁業集落排水整備事業	漁業集落排水整備事業	253,755,000	239,380,904	13,600,000	774,096	芦辺漁港集落排水整備工事 工事費 144,966,150 設計監理業務委託 54,377,400 用地補償費 18,645,000 事務費等 1,964,554 芦辺漁港集落排水整備工事(繰越分) 工事費 14,384,500 補償費 4,997,800 事務費等 15,500
農業機械銀行	農業機械銀行備品購入事業	11,990,000	11,118,840		871,160	軽乗用車 1,332,840 トラクター、サイバーハロー 7,612,500 ヘーベラー、サポートホイール 2,173,500
芦辺港ターミナルビル事業	芦辺港ターミナル建設事業	453,216,000	208,144,177	244,890,000	181,823	本体工事 154,100,000 仮設待合所新築工事 25,000,000 解体工事 16,699,200 設計監理業務等委託 7,959,000 事務費等 4,385,977

一般質問

14人が

長田市政を質す！



田原 輝男 議員



各町からのシャトルバスの運行を考えては。

A 長田市長

現在運行している連絡バスにて利用して頂きたいが、今後検討したい。

Q 市民病院バス路線

石田から市民病院へは途中下車で長い距離を歩か、乗り換えが必要。不便な交通が外来患者減少の原因の一つ。一日一便だけでも市民病院経由にしてはどうか。または、

Q 節水対策

平成六年の湧水が節水対策に活かされていない。節水は水資源確保の基本。啓蒙運動と併せて節水弁の公共施設への取り付けを提案する。

A 長田市長

今後も節水の啓蒙に努める。節水弁は研究していく。

Q 消防署の勤務体制

勝本出張所は人命を預かる仕事でありながら、署員不在の時間帯がある。その対応は。また、もつと署員採用や勤務状況をガラス張りにするべき。市から職員派遣を。署にあるアルコール検査器の利用は。

A 山川消防長

通報用の電話機の設置を広報等で周知したい。勤務体制及び人事体制は検討する。検査器の利用については、現在、自己判断に任せているが、今後は指導を徹底する。

町田 正一 議員



泊客の落ち込み、修学旅行生の減少で、年々危機的状況にある。また、人口も減少している現状から見て、吉崎市では将来税金を負担する若者も減り、今、雇用のすそ野が広い観光面に力を入れていくべき。

Q 原の辻遺跡の学術的価値

原の辻遺跡は現在、全体の五割の発掘状況で、日本最古の船着き場跡・人面石・金の馬具等、非常に価値のあるものが出土している。遺跡の価値と今後予想される出土状況を。

A 須藤教育長

今後、船と王の墓が出土すれば、弥生時代の国の規模を語る上で欠かせない重要な遺跡となる。

Q 交流人口の拡大・観光面の波及効果

吉岐市の観光面での宿

A 長田市長

観光産業など活性化の起爆剤であり、十分将来の波及効果はある。



かけつけ電話（消防署勝本出張所）



原の辻イベントで発掘体験（11月19日）

久間 進議員



Q

水産振興策

現状の漁業の実態は、一時期と比較すると燃油代が十割のアップ。それに加え、資源の減少、長期にわたる価格の低迷等、

漁民にとっては大変厳しい状況である。現在、機器への補助に対し、漁民から枠の拡大について要望が強い。次の点について質問する。

- ① 補助金が見直しされている時期であるが、現状で継続を。
- ② 補助枠の拡大は。
- ③ 基金を利用した、無利子の活用は。

A

長田市長

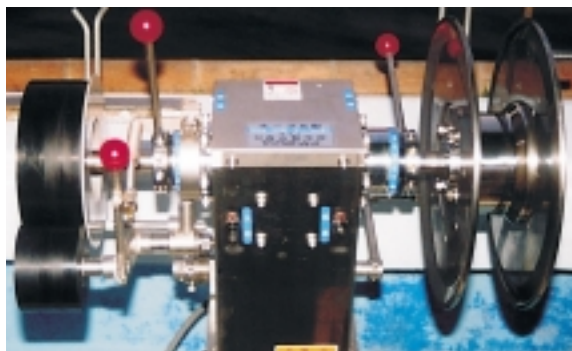
① 今後も漁船機器導入補助事業（GPSレジャー・魚群探知機・プロッター・リール及びD B S送信機）は継続する。

② 補助枠の拡大については今後検討していくが、平成十八年度からは釣竿を補助対象に追加する。

③ 基金の設置による果実の運用は、時代にそぐわないが研究したい。



魚群探知機・GPS・レーダー



電動リール



手動リールと釣竿

牧永 護議員



Q

市長の政治姿勢

民間出身を強調されている市長に期待をしているが？

- ① 公約の燃油の値下げについて出来ない理由を市民に明確に。
- ② 委員会づくりは政策の先延ばしでは。補助金削減等は、まず部内で十分検討してから委員会にかけるべき。庁舎建設についてはは議会でも賛否両論である。市の財政状況、各地域の均衡ある発展のためにも分庁方式を取り入れるべき。
- ③ 市民病院の経営努力は認めるが、医薬分業で薬局が道路の反対側に移る

のは非常に危険である。患者の安全性を考えるべき。このような問題を含め、健全経営のためにも病院担当役を置くべき。

A

長田市長

① 油の価格については、島内の石油商業組合と協議をしたが、従来の取引話がかかった。今後も機会あることに進めていく。私の構想では、かなり安くなると確信している。

② 各委員会は多くの市民

の方々に参加して頂き、「協働」のまちづくりをしたい。補助金等の検討委員会は公平な立場で客観的な視点で検討していただくもので事前に部内で検討することは合理的でない。庁舎建設については懇話会に将来、庁舎のあるべき姿の全体イメージ、規模等の多くの問題を検討願っている。

③ 民間の院外薬局の場所的な問題もあるが、患者の視点に立って協議する。病院管理者は早急に見つけたい。



市庁舎建設懇話会（11月7日）

倉元 強弘 議員



Q 運行改善を！

市民病院行き（シャトル）バスは、郷ノ浦港より病院まで十往復運行されている。一年間の運行契約は、五百六十万円で、今年の運賃収入は二百四十万円の見込みである。その差額は市民病院負担となっているが、それは市民の税金である。市民からの税金は島内どこも平等に課税をされているので、全市民平等のサービスを受ける権利があり、平等でなくてはならない。シャトルバス運行の改善を。

A 長田市長

本町バス停は、吉岐全島一本で来られる場所である。そこからの足としてシャトルバスを運行している。郷ノ浦に取り替ったシャトルバスではなく、吉岐全体のシャトルバスととらえている。

しかし、不便で乗り継ぎ時間がかかっているのも確かである。今後、吉岐交通（株）とも打ち合わせながら検討していきたい。



利用しやすいシャトルバスに

音嶋 正吾 議員



Q 行財政改革

平成十六年度の財政力指数・経常収支比率・公債費比率を改善するために、市政推進の主役である市職員との会話、メッセージを取り入れるべき。

A 長田市長

行財政改革を進め経常経費、特に義務的経費の削減をしていく。職員との対話、メッセージを大切に、情報収集、意識改革に取り組みたい。

Q 通学路の安全対策

最近、常識では考えら

れない凶悪犯罪が頻発している。地域を挙げ、事故防止に取り組み、死角をなくすべき。防犯カメラの増設の助成策は。

A 須藤教育長

防犯カメラは現在、幼稚園一カ所。通学時の子どもの指導は学級指導等で実施、危険箇所点検はPTA・健全育成協議会の協力で毎年実施。

Q 博多・吉岐・対馬指定区間の見直し

現行の指定区間は吉岐の振興策を考えた時、障害となっている。市長が先頭に立って市民・議会が一丸となって市民運動を展開すべき。吉岐の将来に亘る発展の投資として、高速艇の購入は。

A 長田市長

指定区間解除は私の信条。高速艇運航については縛りがあるようなので、今後研究する。



高速艇「ピーナス」



Q 子育て支援

- ① ともセンターの雨漏り等施設の整備を。
- ② 子育てサークルに指導

A 長田市長

者の登用を。
 ③ 保育所、幼稚園の園庭の解放を。
 ④ ともセンターに於ける地域子ども教室の継続に支援を。
 ⑤ ともセンターを子育て支援の拠点に。

A 長田市長

来科を設けて、思春期外来や更年期外来また総合外来であらゆる病気の相談を予約制、一人三十分で一ヶ月に数日取り入れられないか。

専門医の確保は採算性を考えると難しい。

Q 定住交流人口の拡大

吉岐出身の団塊の世代退職者に家庭菜園付き一戸建て住宅の紹介、福岡吉岐を通勤圏内にして定住人口増加。それに伴わせた交流人口の拡大。

A 長田市長

コミュニティービジネスとして、地域活性化のため対応策は是非必要。農・漁業関係の企業誘致も考え、大都市の吉岐出身者にも相談中。



Q 中学校の統廃合

- ① 将来的に何校にするのか。その考え方は。
- ② 実施の時期は。
- ③ 実施に当たっての問題点及びその対策は。

Q 郷ノ浦港の駐車場

明言できない。パブリックコメント（市民から意見を募る制度）を実施するために市の条例または規則を作成する。
 ③ 問題点として各校、空き校舎・スクールバス等がある。

A 長田市長

① 放置車両については陸運局で調査中、レンタカーは業者に協議済。

② 関係近隣事業所と協議し、代替港として郷ノ浦港を使用する。

③ 今後、近隣事業所に要請していく。

A 須藤教育長

① 将来的に統廃合は避けられない。具体的に三案を考えている。

A案：郷ノ浦町・芦辺町各二校、勝本町・石田町各一校の計六校。

B案：近隣する学校による、計五校。

C案：各町一校ずつの計四校。

② 実施の時期については



雨漏り箇所

早急な改修が望まれる「ともセンター」

Q 女性に優しい病院に

市民病院に女性専門外



いつも満車状態の駐車場（郷ノ浦港にて）

市山 繁議員



り組む姿勢が肝要である。
①支所・出張所は地域住

民の利便性を図るために、
フレックスタイム（時差
出勤制）の導入を。

②市職員組合の活動状況
は。

Q 市民との協働

協働には、行政・議
会・市民との三位一体で
なければならぬ。これ
には、市民への信頼と取

③職員の時間外勤務を少
なくするために、課のグ
ループ制を実施して健康
管理につなげるべき。
④特別職の報酬等の減額
財源は、子育て支援事業
に充当すべき。

A 長田市長

①窓口業務のフレックス
タイムを実施してより効
果的な行政サービスがで
きるよう検討していく。

②市職員数は六百五十
人で組合員数は四百七十
九人であり、事業として
給与や労働条件の改善、
公正な人事、機構及び運
営の民主化、福利厚生・
教育文化及び体位の向上、
団結の強化、組合活動に
必要な情報の収集・宣
伝・調査等である。

③十六年度においては合
併直後の調整業務や選挙
事務もあり、時間外勤務
が多かったが、今後は本
年十一月に策定した言岐
市特定事業計画に基づき、
課内で検討して、残業時
間の縮減に努めていく。

④減額財源を個別の事業
に充てることはできない。
市の行政サービスの維持
向上のために全般的に活
用していきたい。

近藤 団一議員



急に建設に向けて計画す
る。

Q 郷ノ浦給食セン
ター建設

従来から衛生面、環境
面から早急な対応を望ま
れながら、現在に至って
いる。今、特に食の安全
が叫ばれている中であっ
て、建設に向けた取り組
みを。

A 長田市長

学校給食衛生管理基準
を満たすのが困難な状態
であり、早急に新セン
ター建設が必要。建設予
定地を変更せざるを得な
くなったために、候補地
を模索中。学校統廃合や
現有施設の有効活用など
を視野に入れながら、早

Q 一支国博物館の建設
予定地と取り組み

学術、歴史的価値、そ
れは弥生原風景が残っ
ているからである。いた
ずらに盛土や景観を損な
う近代建築物が、はたし
て観光の起爆剤になるの
か。

また、博物館の建設予
定地の下部には過去、地
滑り対策事業も行われて
おり、建設可能か疑わし
い。

A 長田市長

原風景を壊さず
に見渡せる場所と
いうことで、現在
の場所を提案して
いる。財政状況の
厳しい現在、無駄
な箱物を作る状況
ではない。どう
やって金を生み出

して自立して行くかと
いった市政をしていかな
ければならない。将来の
ためにも、今これをつぶ
すわけにはいかない。

平成十六年に地質調査
を行い、その結果に基づ
いて造成工事の実施計画
を立てている。建設予定
地は地滑り区域外。

A 須藤教育長

遺跡内には数百種類の
植物がある。原風景・原
の辻らしさを出すために
自然の植生を残す方向で
計画を進めている。



市政タウンミーティング（10月20日 かざはや）



郷ノ浦町学校給食センター内の様子

中村出征雄議員



②年一回の乳ガン・子宮ガン検診を隔年毎にしたのはなぜか。

③保健師・栄養士・訪問看護師は支所に配置すべきでは。

A 長田市長

①保険証の交付制限を行なっている。今後は滞納処分を強化していく。

②厚生労働省のがん予防重点教育及び健康実施のための指針に基づき実施した。

③旧町体制のままでは業務効率が悪く、業務調整にも相当の時間がかかる。市は三十分内の生活圏域であり、機動力の強化と職員の技術向上等を総合的に判断して集約した。

Q 印通寺港の整備

①印通寺港・唐津港の整備は、平成十八年度完成が。また、就航時期は。

②九州郵船ではフェリー

二隻を更新か。

③印通寺外港野積場よりの資材の搬出には、祝町街部を通る一本の道路しかなく、しかも通学路であり、これ以上の大型車の通行は非常に危険。地元公民館からの申し入れを尊重してもらいたい。

A 長田市長

①平成十八年度完成予定。平成十九年四月一日から印通寺唐津航路となる予定。

②九州郵船では当初二隻の計画であったが、鉄の高騰により一隻だけ建造中。将来的には二隻体制を計画。

③地元自治会や各支所との連絡を密にして対応していく。

馬場 忠裕議員



Q 吉岐市の将来像

①歴史と文化の鳥構想の中で、『原の辻を始め、古墳・元寇・朝鮮出兵・

鯨組と、弥生時代から近世にかけて歴史の浪漫が溢れている。これらの遺跡を整備し、周遊ルートの開発を進める。』とあるが、雑草で覆われ、所在も分からない史跡もある。博物館建設よりそちらの方が先では。

②吉岐の将来像を語るには、水産振興は欠かせないと考えるが、水産不況の中、これといった施策がとられていない。市長の夢である『活力ある島づくり』に向けて、その

源である若者が島外に流出してしまつては元も子もない。補助枠の拡大も含め、本気で水産振興に取り組む姿勢が見えれば、漁業者も頑張れる。最善の努力を。

A 長田市長

①一支国博物館（仮称）の建設が実現すれば一支国博物館をしまごと博物館めぐりの拠点にして旧4町の類似施設を活用し、島内に散らばった文化財めぐりを実施したい。しかし、周遊ルートについてはまだ進捗していない。また、今後は史跡に行き着くまでの道路資料等も強く要望していく。

A 須藤教育長

①一支国博物館（仮称）の建設が実現すれば一支国博物館をしまごと博物館めぐりの拠点にして旧4町の類似施設を活用し、島内に散らばった文化財めぐりを実施したい。しかし、周遊ルートについてはまだ進捗していない。また、今後は史跡に行き着くまでの道路資料等も強く要望していく。

300kgを超す巨大マグロ



印通寺外港にある砂置き場

鵜瀬 和博 議員



請・支給の現物給付方式に移行すべき。

A 長田市長

現物給付方式は受給者の利便性は高まると認識している。実施に向け、

Q 医療費申請の簡素化を

現在の乳幼児医療費の支給方法は対象者が一度病院の窓口でお金を払い、役所窓口で申請後支給する償還払い方式で手間がかかり保護者の負担は大きい。この手続きを簡素化して病院窓口での申

長崎県都市福祉事務所事務連絡協議会が県へ要望書を提出したが、県下統一したいということでもまだ見解が示されていない。事務改善についてもまだ課題があるので今後見直しと同様に県下統一の方向で進みたい。

A 長田市長

季節やニーズに合わせて積極的に情報発信をするための行政が必要。そのためには市長直轄の横断的な企画広報部の創設をすべき。

情報公開の必要性を感じている。今後なるべくイベント等の重複を避けるために調整出来るものは調整し、企画広報の充実を図らなければならぬ。そのため現在の一名から複合的に努めながらの最低限二名体制にした。また、現在長崎県福岡事務所の出向職員から週一回報告される貴重な情報や人脈を、担当課に一つの刺激・知識として与え、行動に移せる体制づくりも合わせてしていきたい。

Q 攻めの行政推進のために

観光産業は様々な分野と関わりが多く、波及効果が大い。地域活性化の一つとして観光産業の強化を図るべき。自然をはじめとする再認識・発見した観光資源の素材や島内外のイベント等あらゆる情報を集約一元化し、

坂口健好志 議員



Q 市営住宅入居選考と管理運営

Uターンや結婚した若者が住宅に困っているの定住促進特別入居枠を設け、住宅建設も含め他の支援策も合わせて、定住促進を図るべき。また、家賃滞納者・高額所得者等への適正な措置、管理を徹底すべき。

A 長田市長

公営住宅法の趣旨から特別枠を設けず、従来どおり公募とする。また、今後の五力年の建設計画は地域住宅計画により実施する。管理運営は本庁二名、各支所一名。修繕

Q 学校通学路の防犯対策

児童殺害事件が多発する現状に対し、児童が一人になる時間、死角をいかになくすか道路管理交通安全対策も含め、関係者の横の連携の強化を図り、現時点で考えられる万全の対策を。

A 須藤教育長

子どもの安全は大人の責任と認識している。警察との連携はもちろんだが、各学校には校区内安全マップの作成を指示し、通学路の総点検を現在行っている。通学路

Q 市の花木等の周知と活用策

吉岐市誕生を記念し、制定された花木・花・木・鳥・市歌等を多くの人々に周知し、市民生活や観光に積極的に利用を。

A 長田市長

今後市民参加のもと、各関係団体、関係部署と連携をとりながら、花いっぱい運動や各種イベント等を計画するとともに市民の皆様に広くアピールしていきたい。



市民病院小児科窓口



市の花木「やぶ橘」

市の花「水仙」

市の木「まき」

市の鳥「めじろ」

学ぶ

委員会 レポート

総務文教委員会

大分県臼杵市

(地域情報化・行財政改革)

平成十一年度より独自の地域情報化への取り組み開始。将来の福祉、医療等への活用を踏まえ、高齢者世帯へのケーブル引き込み、防災カメラ・緊急通報システムの構築、グループウェアの活用による事務の効率化。行政と市民間での迅速な情報共有、行政評価システムによる住民参加の行政の充実といった住民サービスの向上が図られている。

平成六年に財政指数が全国「ワースト7」という不名誉な状況から、行財政改革に取り組む。管理職から率先して素手でトイレ掃除をするなど、職員



大分県津久見市にて

意識改革を徹底的に行う。コスト意識を持たせ、さらに市民に対する行政成果の説明責任の徹底、市民の視点に立つた成果重視の行政への転換、市民本位の効率的で質の高い行政の実現を目指している。

大分県津久見市

(行財政改革)

財政試算において、現状のままでは平成十九年度には危機的状況に陥ることから、平成十六年に緊急行財政改革本部を設置。「ゼロからの見直し」「最小の経費で最大の効果を」「財政健全化の目標として取り組んでいた。具体的には①歳入の確保対策②事業費等の見直し③総人件費の削減④教育部門の見直しで、実行状況は議会及び市のホームページ等で報告。市民への理解協力を得ていた。

いずれにおいても、行政と住民が一体となった意識改革の実現が不可欠という市長の強いリーダーシップによって大きな成果をあげている。

厚生委員会

滋賀県長浜市

(健康づくり事業等の取り組み)

長浜市の保健事業での特徴は市民と行政のパイ役とし、「ボランティアの健康推進員」を育成し、「市民の健康づくりの意識向上」に積極的に取り組んでいる。推進員は現在百三十一名で自治会毎ではないが地域に根付いた活動が行われている。養成講座を年十回行っている。



滋賀県近江八幡市にて

滋賀県近江八幡市

(健康づくり事業等の取り組み)

全国でも早く平成十三年三月に「健康はちまん21プラン」を策定した。策定プランは「策定委員会」と「ワーキンググループ」の二つで、策定後「評価計画策定部会」のメンバーに残ってもらい活動中である。市民第一主義で地域、学校、職場においての健康づくりに取り組んでいる。年度ごとに活動報告書が作成されている。どちらの市も

「元気な高齢者を過こすためには、若年層からの健康づくりが大切」と早くから健康づくりに取り組んでいた。

女性の管理職で細かい計画と取り組みがなされていた。吉岐市でも見習うべきである。

先進地から

産業建設委員会

宮崎県西米良村

(体験型観光振興の取り組み)

人口約千四百人。観光客数は年間約十三万人。

国が推進している「ワーキングホリデー」を西米良型に制度化し、単に西米良で休暇を過ごすだけでなく、「柚子」や「花卉」の栽培など、人手が不足する時期に仕事の手伝いをして、報酬をもらう。長期滞在することにより村民との交流が深まり、村の活性化が期待される。

西米良村は町村合併が計画されたが辞退し、自立の道を選んだ。その熱意に感動した。吉崎市も「オンリーワンの吉岐」づくりを進めるべきと感じた。

福岡県鐘崎漁業協同組合 (水産物のブランド化及び販路拡大)

組合員が一戸一員制。総組合員数二百四十名。総漁業従事者は四百名。漁船二百三十八隻。主力船一トンが五十五隻。十六年度漁獲高約二十七億円。主な漁法はまき網、ふぐ延べ網が八

割。

平成十一年度から「釣りアジ玄ちゃん」のブランド化を展開し、漁家経営の安定を図った。ブランド化の基本的な要件は①差別化②「こだわり」③約束性④「安全・安心」⑤顧客満足性⑥「おいしさ」⑦一流性⑧「地域の個性」⑨拡張性⑩「地域の協力」以上のことを踏まえ、今

後は価格安定を図り、市場価格を決定していくために、受託販売方式を買取方式にしたい方針だ。また、本年度から「沖の島黄金まびき」もブランド化されている。以上、高付加価値化と販路拡大に寄与されていたことを今後の吉崎市における水産振興の参考としたい。



宮崎県西米良村にて

議会運営委員会

京都府京丹後市

(会派による議会運営)

平成十六年四月一日、六町が合併した京都府京丹後市議会の会派による議会運営の状況等の調査を行った。会派の採用は合併後、即結成され、全議員三十名による五つの会派で構成され、スタートしたが、現在は構成内容がかなり変更されていた。正副議長は特に申し合わせはないものの、会派から脱退している一般質問の時間制限については、会派の所属議員数に二十分を乗じた時間を割り当て、その範囲で各会派内で調整している。政務調査費については、議員の資質向上のため必要性を全議員が認識し、現在検討中である。

会派の移行については、吉崎市議会においても、思想・政策・性格・年齢等十分勘案し、議員相互の熟慮と理解の上、今後検討していくべきである。

追跡 あん質問な どえんなった？

質問

平成17年 6 月定例会

永田川の悪臭改善を

干潮時、特に夏場には強い臭気が発生し、地域住民を悩ませている。早急な対応を。

市長 / 県へ要望する

地元自治会からの永田川改修工事の要望も併せて、県へ早期の対応を要望する。

17年度 4 回の EM 菌団子を投入

ヘドロを分解し、動・植物プランクトンを増やして水質の浄化を図る効果がある EM 菌混合液・団子の投入を、今後も年 6 回実施予定。

上流部は県営で底水路整備工事を実施。今後も事業継続を県へ要望する。



永田川へ投入される EM 菌団子



EM 菌団子

質問

平成17年 3 月定例会

イルカを観光の目玉に

水産振興と観光産業の共存の観点からもイルカの捕獲が必要。

イルカパーク改修の計画は。

市長 / 県へ要望する

イルカの捕獲枠獲得に向け努力したい。

平成17年11月9日要望書提出

イルカの暫定的な捕獲枠の設定に関する要望書を国へ提出。

イルカの購入については県21世紀まちづくり事業により認可され、平成17～19年度で年4頭、計12頭を購入予定。

イルカパーク改修については平成18年度から壱岐北部海洋公園整備事業により計画。



「カモメさん、イルカのお友達を連れて来て！」

動き始めた

一支国博物館

一支国博物館（仮称）建設に関する調査特別委員会調査報告

9月定例会における予算特別委員会の付帯意見に基づき、一支国博物館（仮称）の建設計画に対し5回にわたり調査を実施した。

国の特別史跡として指定された原の辻遺跡に対する重要性を認識し、考古学的価値を後世に引き継ぐ諸事業を推進することは市として当然の責務と考える。しかし、山積する行政需要に伴う吉岐市の財政は年々厳しさを増しており、後年の負担が大きく懸念される状況にあることから、施設規模、事業費、管理運営費等、多角的に検討協議を重ねた結果、初の試みである指定管理者制度の導入ということもあり、全体像の把握・確認には至ることができなかったが、付帯意見に対する一定の修正がなされたものと認められる。しかし、以下の点について強く要望するものである。

- * 管理運営費については更なる縮減と抑制を検討すること。
- * 厳しい財政状況を鑑み、安易な財源充当による事業展開を行わないこと。
- * 既存の公共施設の管理運営状況を精査し、統廃合を含めた整理と経常経費の大幅な削減を並行して行うこと。
- * 過度の財政負担を回避する方策を早急に講じること。
- * 然るべき時期に特別委員会の設置を検討すべき。

埋蔵文化財センター・一支国博物館(仮称)建設の実質負担予定

	変更前 (9月議会時)		変更後
埋文センター 1000㎡ 事業費 3.4億円	県100% 3.4億円	⇒	事業費 3.4億円 県100% 3.4億円
一支国博物館 (県全額負担分) 4000㎡ 事業費 13.4億円	交付税(国) 8.9億円 県(100%) 3.8億円 県(100%) 0.7億円	⇒	事業費 4000㎡ 13.4億円 交付税(国) 8.9億円 県(100%) 3.8億円 県(100%) 0.7億円
一支国博物館 3300㎡ 事業費 20.8億円	交付税(国) 13.8億円 県(50%) 3.0億円 市(50%) 3.0億円 市 1.0億円	⇒	事業費 2550㎡ 17.3億円 まちづくり交付金(国) 5.7億円 交付税(国) 7.7億円 県(50%) 1.65億円 市(50%) 1.65億円 市 0.6億円

吉岐市実質負担は
約4億円から
約2.3億円に減
約1.7億円

(注意) 事業費は建物本体と展示に係る設計監理委託費及び工事費

傍聴席から

えいか
～ 盈科小学校 6年生のみなさんより～

- 私は、議員さん達が一生けん命人々の事を考えてくれて嬉しいです。
- 吉岐の中でも多くの問題があり、多くの考えがあるのを知りました。
- 吉岐のゴミのポイ捨てやゴミのルールについて考えてほしいです。
- 議員さん達の、真けんに話し合う姿がすごかった良かったです。
- 私は、みんなしんけんな表情だと思っていたけど、色々な表情があった。
- 議員さんの怒っている表情や考えている表情が見られて良かったです。
- 話し合いの内容が私たち6年生でも良く理解できました。
- 議会の意見は一つ一つとても大切だなと思いました。
- 中学校の統廃合のことが、ぼくたちに関することだったのでよく聞いた。
- 吉岐市議会の話し合いを、私達の話し合いの参考にしたいと思います。
- 吉岐のことをたくさん決めていて大変だと思いました。



募集

あなたの撮った写真が 議会だよりの表紙を飾る!

議会だよりの表紙写真を募集します。応募締切は平成18年4月12日(水)までとします。詳しい応募要領につきましては議会だより第7号の19ページに記載していますのでご参照ください。応募について分からないことがありましたら、吉岐市議会事務局(TEL42-1111)までお問い合わせください。

皆さんのご応募お待ちしております!



編集後記

3月定例議会へ
ぜひ傍聴に
おいでください!

(今西)

正月も終わり、帰省客を送り出してホッと一息する間もなく、宿題だった「議会だより」の原稿が送ってきました。「お正月休みがほしくい」と思っている人は私ばかりではないようです。この頃、「何かおかしいよ」とよく耳にします。おかしいことが続くと、おかしいことが本当になり、本当のことがおかしいことと錯覚します。何事もよく見極めていきたいものです。災害のない平穏な一年でありますように。

議会広報特別委員会レポート

住民へわかりやすい議会だより

【研修目的と日程】

町村議会広報全国コンクールにて中央文化社賞等を受賞している始良町の議会だよりに対する取り組みを平成17年10月20日から21日まで調査・研修しました。

【研修内容と所見】

(始良町)人口約45,000人

始良町の議会だよりは、俗にいう「一般質問だより」にならないように議会の活動状況を具体的にわかりやすく、公平、正確、客観性を保ちながら、見出し、写真、余白を活用し、読みたくなるような紙面づくりを工夫されていました。また、住民に関心をもってもらうために傍聴者アンケート等実施されていました。我々委員会としても吉岐市議会の活動状況を「議会だより」を通して出来るだけ早く、住民へ少しでもわかりやすくお伝えするために今回の研修で学んだことを取り入れ、編集します。



鹿児島県始良町にて



この議会だよりは、古紙配合率100%の再生紙と、揮発性有機化合物を一切含まないノンVOC植物性インキを使用しています。また、印刷はISO14001認証取得工場で行っています。